

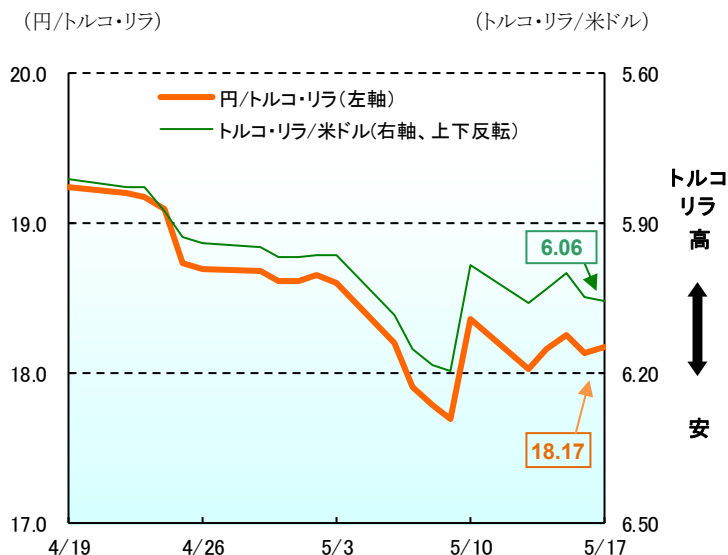
【2019年5月11日～2019年5月17日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

先週は、5月13日（現地、以下同様）にトルコ政府が中央銀行の準備金からの借入れを検討していると報道され、財政悪化が懸念されたことによりトルコ・リラは下落しました。5月15日にトルコ政府は官報で、トルコ・リラの売り手に0.1%の課税を行うという大統領令を発表しました。この課税は約10年ぶりの復活となります。ただし銀行間取引やクレジット取引など除外規定も多く、トルコ・リラ安を止める効果には懐疑的な見方もあり、市場の反応は限定的でした。国債は財政悪化が懸念されて売られ、金利は上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】(2019年4月19日～2019年5月17日)

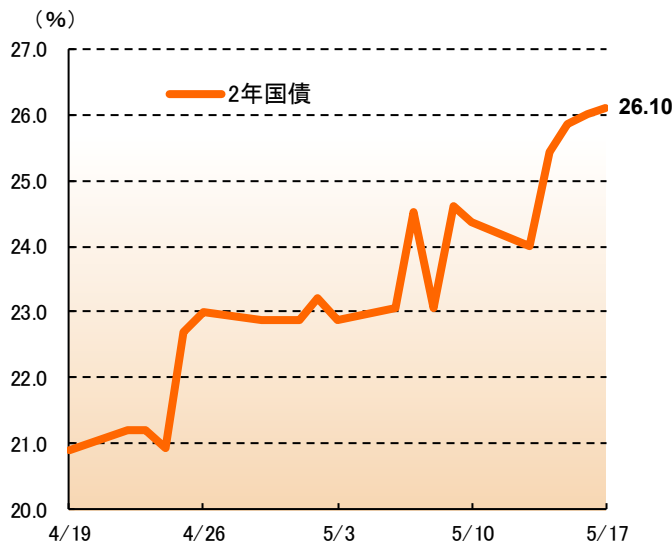


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、国外で米中貿易摩擦激化が長引く中、引き続きトルコの個別材料に対する注目度は相対的に低くなると考えています。中央銀行の準備金活用案は取り下げられたとの報道が出ましたが、イスタンブール市長の再選挙が予定されている6月23日まで政治的不透明感から、トルコ・リラが積極的に買われる環境にはないと考えます。一方、トルコ当局の各種引き締め策によりトルコ・リラ売りのコストも高まっていることから、下落リスクも限定的と考えられます。今週のトルコ・リラは、横ばい圏で推移すると予想しています。

【トルコ 金利推移】 (2019年4月19日～2019年5月17日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>